



自立の合い言葉

校長

全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるようにするため、文部科学省が基準となるカリキュラム（教育課程）を示したのが「学習指導要領」です。学校の時間割はこの学習指導要領を基にしてつくっています。

学習指導要領の目指すところは「生きる力の育成」と言われてきました。「生きる力」は平たく言うと「確かな学力（知育）」「豊かな心（徳育）」「健やかな身体（体育）」を併せたものとして定義されます。

しかし変化の激しい現代を生き抜くためには、これまでの学力観を見直し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業を改善し、「カリキュラムマネジメント」を確立して、「学びを進化」させることが求められています。

本校の「学びの合い言葉 なんで？ なるほど！ ということは・・・。」は、授業改善の方向性を示し、学びを進化させるためのツールとすべく、元々は教員向けに考えたものです。そして今回はそれを補完するものとして「自立の合い言葉 きめる みとめる つながる」を設定しました。

「自立」というのは幅の広い概念ですし、1年生と6年生では目標とするところは大きく異なりますが、土台となる共通認識をもつことは大切です。

気をつけたいのは、学童期に子どもに判断を丸投げしたり、責任を押しつけたりすることが「自立」を促すことではありません。むしろ逆で、大人がしっかりと支えてくれていることを子どもが実感するからこそ、大人の手を離れて活動することができるということを前提として考えておく必要があります。

- ・きめる・・・自分で判断し、自分で決めることができる人。
自己決定は自立の第一歩であると考えています。
また「メタ認知」を促し、自分を理解することにつながります。
- ・みとめる・・・自分自身を客観視することができ、相手も尊重できる人。
他者の存在を考え、認めることは「つながる」上での前提でもあります。また、文化的多様性や環境を守ることにもつながる概念であると考えます。
- ・つながる・・・一人でいることもでき、かつ人や社会とつながって活躍できる人。
自分の考えを伝え、協働することで社会が成立します。人や社会とつながることは、周りから支持され認められることでもあります。

ご家庭においても「きめる みとめる つながる」を子育てに取り入れていただけると幸いです。

お知らせとお願い

水泳学習



6月17日(月)より、今年度の水泳学習を約1ヶ月間、実施しました。学年によって実施できた回数に違いがありましたが、暑い中プールに入り、楽しく学習する様子が見られました。保護者の皆様には、安全に十分配慮し学習活動を実施するために、毎回プールカードによる健康観察等、ご協力いただいたことに感謝いたします。

自転車のヘルメット着用(お願い)

道路交通法の一部改正により、令和5年4月1日からすべての自転車利用者の乗車用ヘルメット着用が努力義務となりました。令和5年度の県内児童生徒の交通事故は360件で、前年度よりも増えている中、自転車に関わる事故が多いことが報告されています。

自転車に乗る際は、ヘルメットをかぶることを学校でも指導していきます。ヘルメットをお持ちでない場合は着用についてご検討ください。



学校公開



6月21日(金)の学校公開では昼休みや掃除の様子、授業を参観していただき、ありがとうございました。大雨で足下の悪い中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。子どもたちは、保護者の方にあたたかく見守られながら、いつもより張り切って授業に参加し、頑張っている姿がたくさん見られました。

第1回学校運営協議会

6月5日(水)に第1回学校運営協議会が開催されました。協議会では、まず、会長、副会長の選出を行いました。以下は本年度の学校運営協議会のメンバーです。

- ・会長 ○○ ○○ さん
※兼 地域コーディネーター
 - ・副会長 ○○ ○○ さん
 - ・委員 ○○ ○○ さん
 - ・委員 ○○ ○○ さん
 - ・委員 ○○ ○○ さん
 - ・委員 ○○ ○○ さん
- (委員は他に本校校長、教頭、教務)



また、当日、地域学校協働活動についても協議しました。この話し合いを受けて、保護者・地域の方にボランティアの募集を行いました。中央小HPにも情報を掲載しましたのでご覧ください。

ホームページでは、学校だよりをカラーでご覧いただけます。

右のQRコードもご活用ください。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/index.html>

